

2018年5月15日（火）指圧勉強会報告

1 「上野流指圧治療法 伏臥位編 DVD」を観ながら 指圧の理解を深める。

脊柱に対して 足がどちらに寄っているかを診る。

鼠径靭帯に膝を入れる。（圧刺激が入る。）

仙腸関節を動かす様に圧刺激。大殿筋の仙骨起始部を圧刺激。

鼠経靭帯を殿部を同時に圧刺激すると、ゆるむ。

仙腸関節のどこにコリがあるか見つけて圧刺激。

「大転子と上前腸骨棘間」が特に大事。そのコリがわかるとコリはすぐ取れる。

第5仙骨から第1仙骨棘突起を真直ぐにする様に、圧刺激。骨が曲がっているのではない。骨に付着する筋肉をゆるめる様に、足背を持ち足を回す。患者あった回し方をする。仙骨に指を置いて足をまわす。仙骨の脇をこの原理で運動させている。

右から施術することがある。

浪越圧点を、鼠径靭帯と同時に圧刺激。（鼠径靭帯に膝を入れて浪越圧点を刺激）

内果 三陰交 血海 坐骨結節 を圧刺激。

身体を見る

背柱はまっすぐなのにおしりから左右にまがっているときがある。

仙腸関節を刺激すると治る。

大転子のまわりにきわどい筋がある。鼠経靭帯がゆるむ。

その後、肩甲骨周辺の脊柱の調整をする。

2 「プロカウンセラーの聞く技術」東山紘久著を音読し、人間理解を深める。